

令和7年度下期 放送番組審議会 議事録

令和8年3月
株式会社ジェイコム千葉

1. 開催日時 2026年3月23日(月) 16時00分～17時30分
2. 開催場所 オリエンタルホテル東京ベイ 1階ローズ
3. 委員出欠

委員総数6名 内5名ご出席

【出席委員氏名】

柳内光子 山一興産株式会社 代表取締役社長
瀬戸熊修 学校法人千葉工業大学 理事長
鈴木希依子 木更津市国際交流協会 会長
薬師寺広 ゴルフキャスター
添谷進 株式会社幕張メッセ 代表取締役専務

(順不同、敬称略)

【事業者側出席者氏名】

●株式会社ジェイコム千葉

代表取締役社長 高平太
常務取締役 渡辺岳
取締役 佐藤忠信

●JCOM株式会社

映像制作第一部リージョナルマネージャー 西井俊介

4. 審議

- (1) 自主制作番組の放送内容および実績報告
- (2) 上期の審議会を経て対応した取り組み
- (3) 新レギュラー番組「ちばラブ Leaders!」に関して
- (4) 新特別番組「千葉未来会議」に関して

5. 審議要約

- (1) 自主制作番組の放送内容および実績報告
 - 自治体からの依頼による広報番組4つを含めた16番組を放送。
 - 下期において立ち上げたレギュラー番組6つの紹介。

① ちばステ LIVE!

一生放送の情報番組。「夕方5時はJ:COMを見てください」という強い

想いを込めて作成。アナウンサーは外注するのではなく、自社アナウンサーを起用し育成。

② ちばスポ Players!

ープロスポーツから中学校・高校の部活動にも目を向けた番組。

③ かずさ〇〇（まるまる）ジャーニー

ーかずさ4市の情報発信番組。委員の鈴木様にMCを務めていただき、毎回2市のいいところを紹介。

④ ドコ見るココ見る情報発信課

ー市川市・浦安市、船橋市・習志野市・八千代市を2つに分けて放送。

⑤ ちばラブ Leaders!ー（3）審議事項にて記載

⑥ 千葉未来会議ー（4）審議事項にて記載

- 以下7つの特別番組（生中継・生配信）の実施

①令和6年度流山花火大会

②第77回東葛地方中学校駅伝競走大会

③J:COM旗千葉県少年野球6区連盟対抗5年生選抜大会

④千葉県高等学校文化連盟放送コンテスト

⑤千葉県ケーブルテレビ杯千葉県U-9サッカー選手権大会

⑥第8回J:COMカップかずさミニバスケットボール大会

⑦千葉未来会議

- 東葛駅伝について詳細説明

- ・3年目の集大成として初めてバイクカメラ導入、計20台のカメラで撮影。
- ・上位だけでなくすべての出場校の順位を目視にて確認しテロップ表示。
- ・生放送中でのYouTube視聴数8万回は番組の過去最高視聴数を記録。

（2）上期の審議会を経て対応した取り組み

- 地域情報の収集方法について

情報の偏りがあるのではないかと、また人的リソースが限られているのではないかと意見を受け、視聴者からの投稿映像や写真の活用を今後強化していく方針が示された。具体的には家庭で咲いた花や地域イベントの情報など、身近な話題も含めて、視聴者から寄せられる写真や動画を番組内で活用していきたいと説明。

- 安心安全サポーター制度について

安心・安全に関する取り組みの一環として、「安心安全サポーター」制度について説明。

現在、千葉県内で約100名の協力者が登録しており、毎月およそ20件程度の情報提供を受けているとの報告があった。平時の情報提供だけで

なく、災害時には河川の状況や危険箇所の情報などを迅速に共有し、地域住民に伝える体制づくりを目指していると説明。

(3) 新レギュラー番組「ちばラブ Leaders!」に関して

千葉県内で活躍する経営者を取り上げ、企業活動への想いや千葉への思い、人となりを紹介する番組。これまでに21社の経営者を取材し、インタビュー形式で経営理念や地域への思いを伝えている。

番組の特徴として、エンディングで「アルプス一万尺」のメロディーに合わせ、各経営者が自社や地域への思いを歌詞として表現する演出を行っており、将来的にはこれらの歌詞や映像をつなぎ合わせ、「千葉から世界へ」というイメージを発信していきたいとの構想を説明。

- 質疑

①出演企業の選定方法について

各エリアの営業部門や地域に密着して活動している部署からの情報提供をもとに、地域で活躍している企業や特色のある企業を選定していること、また商工会議所や青年会議所などの団体からの紹介を受ける場合もあることを説明。

委員からは、数多く存在する企業の中で、視聴者に対して「なぜこの企業が選ばれているのか」が伝わる説明があると、より理解しやすくなるのではないかと意見を頂戴した。

②番組コンセプトについて

「千葉から世界へ」というコンセプトについては、現時点ではやや抽象的に感じられるため、今後は番組の中でより具体的なイメージや方向性を示していくことが望ましいとの指摘があがった。

③スポンサー・収益化について

ボランティア的な取り組みだけでなく、番組としての価値を高め、スポンサーが参加しやすい仕組みづくりを検討すべきではないかとの意見があがった。

- 応答

委員からのご意見を踏まえ、今後は経営者の想いや企業の特徴をより明確に伝える構成を検討するとともに、「千葉から世界へ」というテーマについても、より具体的な演出やストーリー作りを検討する考えが示された。

(4) 新特別番組「千葉未来会議」に関して

千葉県が抱える課題をテーマに、有識者や経営者が集い自由闊達な意見交換を行う討論番組。

初回のテーマは「“素通り”脱却～千葉資源の有効活用と可能性～」として、成田空港を有し多くの人を訪れる一方で、宿泊や滞在につながっていない現状を課題として取り上げている。このテーマについて、千葉県内外

の有識者や経営者が、それぞれの立場から意見を交わす構成としていることを説明。

- 質疑

①テーマ設定について

千葉県の課題にメディアとしてどのように関わられるかを考えたことが発端であり、その中で「素通り」というテーマが、データ上も特徴的であり、議論の入口として適していると考えたとの説明。

②番組内容の評価

千葉県の課題に正面から向き合う姿勢が評価できるとの意見があった。特に行政主導ではなく、民間や有識者の本音の意見が交わされている点について、他のメディアにはない特徴であるとの評価が示された。

また、議論の中で具体的な事例や経験談が多く語られており、視聴者にとっても考えるきっかけになる内容であるとの意見があった。

地域に根ざしたメディアとして、行政や企業、住民をつなぐハブの役割を果たすことが期待されるとの意見が述べられた。

③今後の展開について

第2回以降の放送では、今回の議論を踏まえた進捗や実際に動き出した取り組みを取り上げることで、番組としての継続性や説得力が高まるのではないかと提案があった。また観光分野だけでなく、産業、教育、定住促進など、テーマを広げていくことで、千葉県全体の未来像を描く番組になるのではないかと意見も述べられた。

- 応答

委員から寄せられたご意見を踏まえ、本番組を単発で終わらせるのではなく、継続的な企画として育てていくことも検討したい旨を説明。また、番組内で生まれた議論やアイデアを、可能な限り現実の取り組みにつなげていくことが重要であり、その過程も含め発信していきたいとの考えを示した。

6. 閉会（事業者事務局）

本日頂戴した番組に対する貴重なご意見・ご要望を制作現場に申し送り、今後の番組制作に活かしてまいります。